



「活着ていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>
 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

善は急げ。上げ膳据え膳 (あげせんすえせん)

討議資料

【善は急げ】◇よいことはただちに実行せよ、ということ。
 【上げ膳据え膳】◇自分は何もせずに、すべて他人が世話をしてくれること。
 ・薩摩(鹿児島)では、網元や金持ちが腰高の膳を給仕に上げ下げしてもらい、若者に立身出世を促したところから。

私は2月が一番寒い時期だと思っています。しかし、あと少し我慢をすれば百花に彩られる春が目前と、先を思い辛いこの季節を乗り越えることにしています。

酉年の今年が、空とぶ鳥のように皆様方にとって飛躍の年になること、異常気象や災害が無い年になることを心より願います。

さて、3月議会は2月24日から始まりますが、この定例会は平成17年度の予算を審議する特に重要な議会となります。2月と3月の本紙は12月議会の質問を主にお届けします。ご意見やご提言を戴ければ幸いです。

①冬は火災が多い季節ですが、前原西1丁目にある「船橋東消防署前原分署」の立地について質問(というより提言)をしました。

この消防署は、花輪インターから鎌ヶ谷市へ延びる主要地方道船橋・我孫子線(船取線)に面し、渋滞で有名な中野木交差点からすぐの所にあります。

この周辺の道路は毎日ラジオやテレビで渋滞が報道されるくらい有名でした。その後、立体交差が完成して渋滞が緩和されると思っていましたが、少し緩和されただけで、消防署の前はいつも渋滞しています。

この消防署の前を通るたびに、消防車や救急車はどうやって道路に出て一刻を争う現場に早く駆けつけることができるのか、心配していました。消防署の前は1車線しかなく、たとえ渋滞していなくても10台も信号待ちしている車があると、緊急車両が道路に出られない状態なのです。



何故こんな立地に消防署を造ったのか、いまさら追及しても始まりませんので、最良の策として私は、

◇高架下に右折専用車線を作り、消防署の前を直進の2車線とし、1車線にゼブラゾーンを設けて、車を停車させない。

◇2車線が不可能であれば、現在の1車線にゼブラゾーンを設けることを提案しました。担当の消防局長は「千葉県と協議を進める」とのことでしたが、『善は急げ』本件は必ず早期に実現してもらいます。

②平成16年4月現在で、70歳以上の高齢者は52,606名おられます。「少子高齢化が急速に進んでいる」と言われて久しくなりました。「高齢化」が良くないように錯覚しますが、私は「高齢化」は決して悲観することではなく、むしろ「少子化」が心配です。

こんな笑顔がいっぱいになりますように



私が子供の頃は60代になると腰が曲がった高齢者が多かったのですが、現在は元気な70代80代の方が大変多くなりました。有り難いことではないでしょうか。

現在、市では「敬老記念品」として古希（70歳）の方全員に5000円、喜寿（77歳）と米寿（88歳）に10,000円、白寿（99歳）に20,000円、百歳以上の方には30,000円の「敬老記念品購入券」を町会・自治会長を通じてお渡ししています。

また、民生委員を通じて、75歳の方に5000円、85歳に10,000円、95歳に30,000円を「現金」でお渡ししています。

さらに、70歳以上を対象にした「敬老行事交付金」として、一人あたり2000円を、町会・自治会に交付しています。この総額は、自治振興課から町会・自治会への「自治会交付金」の2～3倍にもなります。

私は、市から交付されるこの金員を楽しみにしている高齢者が多くおられることは承知していますが、現在の状況は「お金のバラマキ」「福祉のバラマキ」のように感じられる。至れり尽くせりの現金や記念品購入券の贈呈、敬老行事交付金の一部でも見直して、その分で高齢者の「生きがい作り」の側面援助をしてはどうか、と市の見解を伺いました。

福祉サービス部長は、「高齢者などの意見を聞いて参考にして、今後も生きがいづくりや健康の維持・介護予防などの支援を側面からしていく。限られた財源の有効活用に努めていく」と回答されました。

一部の方からは「神田はとんでもないことを言う」と非難されましたが、避けて通れないことと考え、言いにくいことも言わなければなりません。『上げ膳据え膳』ではなく、自助努力も必要です。

— 今年も良い年でありますようご祈念申し上げます —

